

# みやぎの環境

NO. 9

特集：森を考える



1994

9



# 私の原風景

宮城県知事

浅野 史郎

「俺の生まれたところは宮城県、川じゃめだかが泳いでる、山じゃウサギが遊んでる、ああなんどのどかな宮城県」で始まるのが「ああ宮城県」である。「みやぎの環境」の第四号で巻頭言を書いている吉川団十郎さんの作詩、作曲、歌唱によるこの二十年前のヒット曲を覚えている人も少なくなつた。これがはやつた頃は私は環境庁の自然保護局に勤務していた。宴会では私が宮城県出身であることと自分の仕事とを同時にアピールできる歌としてよく披露したものである。

私にとつてのみやぎの環境の原風景は、父の生まれ育つた県北の農村にどこまでも広がるたんぼである。景色だけでなく、たんぼの中の道を歩くときに感じる草いきれ、におい、ふきぬける風、牛の鳴き声、つまりは五感に一斉に迫ってくるものの総称としての環境と言つたほうがいい。これが私の「ああ宮城県」ということになる。

青葉の山と広瀬川の世界は仙台の環境である。ものごころが完全についてからこの景色はむしろ青春のほろ苦い思い出ともよみがえってくる。青葉通や定禅寺通のけやき並木は仙台の誇る素晴らしい都市環境を形成しているが、子供の頃の思い出には結びつかない。それぞれの人に特有の原風景は五、六歳頃までにかたちづくられるとしたら、今の宮城県の子供たちはどんな風景を四十年後に思い浮かべるのだろうか。

「ああ宮城県」は「やつと帰つてきました宮城県、昔の川はどぶになり、緑の山はニュータウン、ああ変わりはてたよ宮城県」で歌い終わる。二十年前にも歌うのに抵抗がある歌詞であつた。やつと帰つてきた宮城県である。これからの子供たちにこんな歌詞は歌わせたくない。同じ団塊の世代に属する吉川団十郎さんたちと一緒にみやぎの環境のために何ができるか、真剣に考えていきたい。



表紙：仙台市西公園

## みやぎの環境 第九号

私の原風景

浅野 史郎 2

特集◎豊かな自然とやすらぎの場所 森を考える…… 3

しやんこ

西風蕃山の大きな森 柴崎 徹…… 8

エコライフ

森林浴に出かけましょう…… 10

日頃のライフスタイルを

見直してみませんか？…… 11

地球にやさしい商品…… 11

INTERNET

NEWS・環境伝言板…… 12

紹介・環境情報センターから

見る・聴く・ふれる…… 13

蔵王野鳥の森自然観察センター

「JUNCO」…… 14

まちなみ

河北町長面…… 15

近江 隆…… 15

C O N T E N T S



豊かな自然とやすらぎの場所  
森を考える

森の遊歩道 蔵王町遠刈田

森は木材資源をはじめ山菜やキノコなど、私達に様々な産物を与えてくれます。また、ハイキングやバードウォッチングなど、日常生活の潤いとなるレクリエーションの場を提供してくれます。しかし、これらは森の恩恵のほんの一部に過ぎません。

私達人類はもとより、地球上の全ての生物が生きていくうえで、一番大切なものは何でしょうか。それはきれいな水と空気です。きれいな水と空気は森によって守られ保たれているのです。森によって私達の生命が育まれていると言っても過言ではありません。

森と私達の生活のかかわりを想いながら、地球の自然環境を美しいまま残すことの大切さを考えてみたいと思います。



— 豊かな自然とやすらぎの場所 —

# 森を考える

皆さんは「魚つき保安林」と書かれた標識を

林の中で見かけたことがありますか。そして魚が付いている林など意味がよくわからないと思われた方が多いかもしれません。諺に「木によりて魚を求む」と言うのがあります。これは木に登って魚を捕らえるという意味で、見当違いで無理なことの例えです。しかし、近代の科学は木と魚が全く無関係ではないということを実証しました。「魚つき保安林」というのは魚を養うために必要な林という意味です。

林の間を通った水は豊富な栄養素やミネラルを溶かした川の水となって、海に注ぎます。この水の回りには多くのプランクトンや海藻が成



魚つき保安林（本吉町）

育します。それらを求めて魚達が集まり、あたりは豊かな漁場になるという訳です。このように森や林は、思いがけない所で私達の生活と密接に関係しているのです。

古くから私達日本人は、森と深くかわりあって生活してきました。森からとれる木材は家屋や家具・日常生活の道具の材料として、薪・炭などの燃料として、私達の生活に欠くことのできない大切な資源です。

また、近年になってからは、森は人工的な都会に対して、ハイキングや登山やバードウォッチングなどをとおして、豊かな自然と親しめる安らぎの場所としての価値も大きくなっていきます。このように経済資源としてばかりでなく、保養の資源としても、森は私達の生活に充分な恩恵を与えてくれると言えるでしょう。しかし、森はもつと多くの私達の生活に大切なものを与えてくれることを忘れてはいないでしょうか。今回はふだんあまり目立たない森の働きについて考えてみたいと思います。



杉の植林地（津山町）

現在の日本の年間木材総需要量は約1億立方メートルありますが、その25%が国内で生産され、残りは外国から輸入しています。

## 地球の気候を守る森

森には多くの樹木が成育しています。樹木が成育するためには、葉が太陽のエネルギーを利用して二酸化



磯浜沿いのマツ林（本吉町）

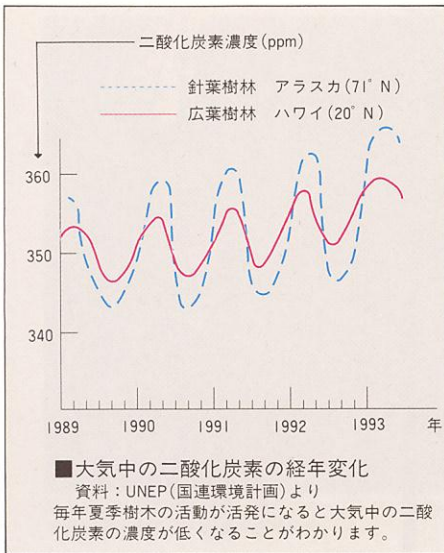
炭素と水から炭水化物を作ります。これを光合成と言います。そしてこの時、二酸化炭素を吸収し酸素を放出します。

## 郷土の森

私達の住む宮城県を含む東北地方の森林の大半は冷温帯に属しています。そのため落葉広葉樹林が大きな面積を占めています。落葉広葉樹林を代表するのはブナ林、ミズナラ林です。東北地方におけるブナ林は全国のブナ林の58%を占めると言われています。森の母といわれるブナ林がこれほどまでに大きく分布しているのが東北地方の特徴です。

宮城県で多い森林はコナラ、クリ林です。次に多いのはアカマツやスギの植林地で、ブナの自然林は、僅か8%に過ぎません。コナラ、クリ林も以前はモミヤイヌブナの原生林でしたが、伐採後現在の姿になりました。このように宮城県は東北地方でも二次植生が多いのが特徴と言えます。二次植生というのは人間の手が加えられた森林などのことです。その他の特徴として、沿岸部や松島を代表とする島々にはアカマツやクロマツの自然林が見られます。

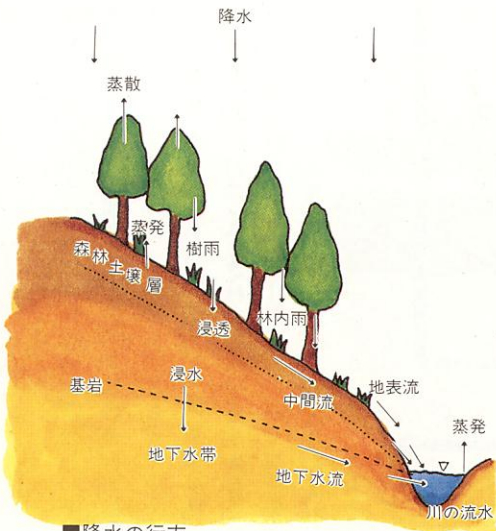




最近、大気中に〇・〇三%含まれている二酸化炭素の量が少し変わるだけで地球の環境に大きな影響を与えることがわかってきました。二酸化炭素は太陽で暖められた地球の熱を地球外へ逃すのを妨げる作用を持っているのです。これを温室効果といいますが、大気中の二酸化炭素の濃度が高くなると温室効果が増し、地球の気温が上昇します。二酸化炭素の濃度は近代文明が発達すると共にどんどん高くなってきています。その原因は便利な生活を追求するために石油や石炭を燃やし続けたためです。このままでは二十一世紀半ばに、二酸化炭素の濃度が〇・〇六%になると言われています。これによって砂漠の面積が増えたり、南極の水が溶けて海面が上昇したりして、地球の環境が大きく変わってしまう心配があります。

森はこのように増え続ける二酸化炭素を吸収してくれるのです。特に地球上で大きな面積を占める熱帯雨林は、地球の環境にとって非常に大切なことがわかりただけるといえます。

### 緑のダムとしての森



■降水の行方  
資料：森と水のサイエンス(東京書籍)より

森の土壤には、落ち葉や枯れ枝や枯れ木などが分解してできた腐植といわれる有機物が多量に含まれており、すき間の多い構造になっています。つまり、水のとおりが良く、同時に水を保ちやすいという性質を持っているのです。このため、短時間に集中して降った雨も土壤に浸透し、すき間に保持されるので、一度に川に流れ込むことがありません。これは流れる水をせき止め、時間をかけてゆっくり流すダムと同じ働きをしているといえましょう。森は天然のダムなのです。

では実際に洪水を防ぐ効果を調べた研究を紹介しましょう。実験では森のあった時と木を全部切ってしまった時の大雨の後の川の水量の変化を調べました。すると荒地では森のあった

時に比べてピーク時の川の水量は一・三六〜一・八一倍に増加しました。このように、森がなければ大雨が降ると川に一時的に大量の水が流れ、洪水になる危険が大きくなることがわかります。このような研究は日本ばかりでなく外国でも行われていますが、同じような結果が出ています。

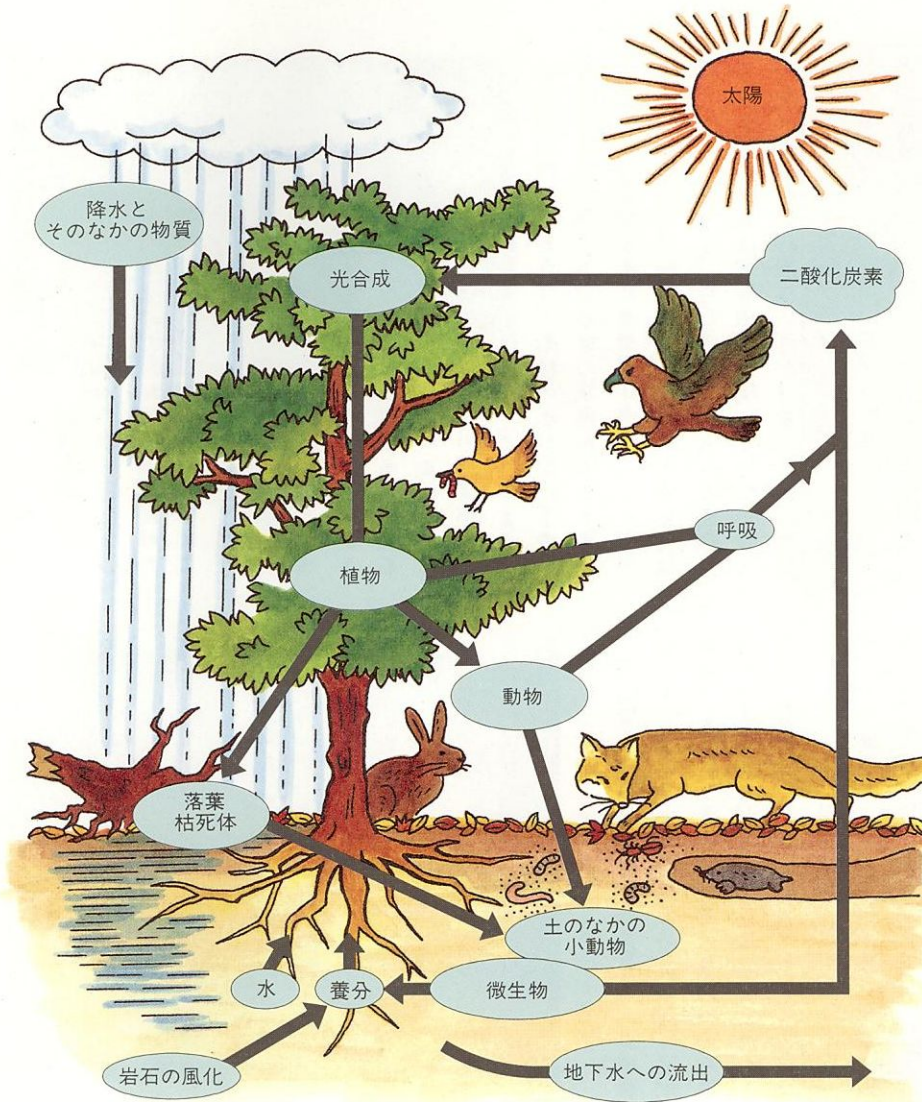
### 生命を育てる森

森には様々な生物が生活しています。小さな虫・小鳥、それにイタチやクマ・シカといった大型の哺乳類も生活しています。さらに土の中には無数の微生物がいます。これらの生命を支えているのが森の植物なのです。

動物は食料として有機物を必要とします。しかし、動物は自分で有機物を作ることができません。そこで、まず植物が太陽のエネルギーを利用して二酸化炭素と水と無機養分から光合成により有機物を作り出します。草食動物は植物を食料とし、肉食動物は草食動物を食料として生活しています。例えば直接植物の葉を食べる毛虫、毛虫を食べるクモ、更にクモを食べる小鳥、そしてワシ、キツネという具合です。このような関係を食物連鎖と呼んでいます。最終的に動物の死骸や排泄物、落ち葉などは微生物によって分解され、無機物となって再び植物の光合成の材料になります。



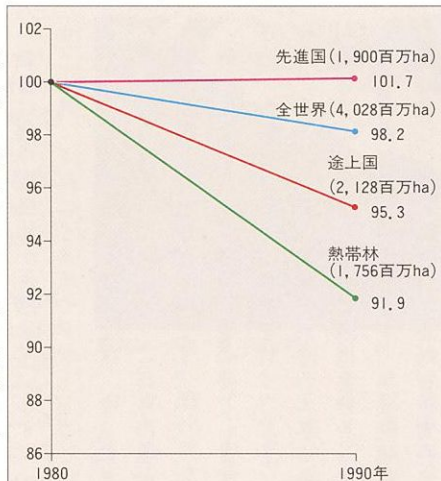
森では植物を中心に様々な生物がお互いに影響しあいながら生活しています。このような環境を生態系と呼んでいます。森が破壊されれば生態系も破壊されてしまうのは言うまでもありません。人間も生態系の中の一員です。すなわち、森は私達人間の生命系を育ててくれていると言っても過言ではないのです。



■森林の生態系 資料：ヒトと森林(共立出版)より

蝕まれる森

今世紀の中ごろから、中南米や赤道アフリカ・熱帯アジアにおいて、きわめて大規模な熱帯雨林の伐採が行われるようになりました。主な原因としては、発展途上国における急激な人口の

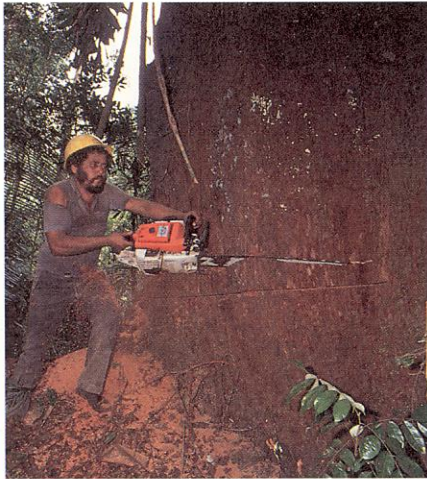


■世界の森林と熱帯林の推移 資料：林業白書より (1980年を100とした時の1990年の指数)

増加とこれに伴う森林の焼き畑農地や放牧地への転用が指摘されています。さらに、先進国が木材資源の不足をこの地域に求めてきたことも大きな要因の一つになっています。現在でもこの地域で毎年日本の面積の約四十%にあたる十五万四千平方キロメートルの熱帯雨林が開発のために失われています。

最近では酸性雨による森の破壊も大きな問題になっています。石油や石炭を燃やしたときにできる硫黄や窒素の酸化物が主な原因です。これらの物質は大気中を浮遊していますが、やがて雨水に溶け酸性雨となって降ってきます。酸性雨は植物の葉や根に障害を与え、木の活力を衰えさせやがては枯死させてしまいます。さて、森の破壊は人類を含む生物にどのような影響をもたらすでしょうか。今までのべてきた森の働きが失われてしまうことになり、私達の生活に大きな影響を与えることは間違いありませんが、もう少し具体的に見ていき





輸出用に熱帯雨林を伐採（ブラジル・ロンドニア州）  
写真提供/環境庁・財団法人日本環境協会

たいと思います。

第一に生態系が破壊され、多くの野生生物は棲み家を奪われ、姿を消してしまいます。実際にその種が永久にこの地上から姿を消してしまつた野生生物も数多くあります。

第二に土壌が侵食されて、砂漠化が進行します。耕地が少なくなれば食糧生産に深刻な打撃を与えます。これはアフリカの飢餓問題に見られるように、既に現実の問題となつて人類にせまりつつあります。

第三に地球の気候の変動があげられます。大気中の二酸化炭素の濃度の増加は地球の温室効果を高め、気温を上昇させます。気温の上昇によつてもたらされる地球環境の変化は、人類にもその他の生物にも、重大な影響を与えることは避けられません。森が失われる事によつて、このような地球規模での環境の変化が少しずつ進行していきます。

## 未来の人々のために

昨年十一月に環境基本法が制定されました。

古くは明治三十年に森林法が制定されて以来、様々な法律によつて森や自然環境の保護がはかられてきました。それから永い年月を経た今日、環境をめぐる課題は大きくその姿を変えてきました。自然環境の破壊はいつたん発生すると、その回復に多額の費用と年月を要します。

また、森の生態系の破壊のように復旧がほとんど不可能なものもあります。従つて環境破壊を未然に防止するという考えにたつた取組みが必要です。環境基本法はこのような観点から定められ、二十一世紀に向けて地球環境問題に対応する日本の姿勢を世界に明らかにしたものです。これを機会に私達一人ひとりも、これからの地球環境を守るにはどうしたら良いか考えて見ましよう。

私達先進工業国の人々は、この半世紀の間に、大量生産・大量消費・大量廃棄というライフスタイルを築いてきました。そのために森を始めとする多くの資源が失われてしまいました。これからは私達のライフスタイルを変え、もつと地球にやさしくすることが必要ではないでしょうか。ちよつとした心がけが、資源の保護につながるのです。この身近な例はリサイクルの推進です。世界の市場向け木材の年間伐採量の三分の一以上が紙の生産にあてられています。

紙のリサイクルは現在では四分の一にすぎませんが、もし半分をリサイクルすることができれば、ヨーロッパの森の5%に相当する量の木材の節約になるといわれています。私達一人ひとりの環境に対する小さな思いやりが、地球の環境を守ることにつながっていきます。私達は人類の共有財産である地球環境を美しいままで子孫に残さなければなりません。そして、今このために何をしなければならぬかを真剣に考える時です。これは、現代に生きている私達に課せられた大きな責務ではないでしょうか。

### 参考にした図書

- 一 ヒトと森林  
只木良也 吉良竜夫 共立出版
  - 二 地球・人類・その未来  
小島寛 森北出版
  - 三 森が危ない  
NHK取材班 日本放送出版協会
  - 四 森林の一〇〇不思議  
社団法人 日本林業技術協会編 東京書籍
  - 五 ふるさと宮城の自然  
ふるさと宮城の自然編集委員会 宝文堂
  - 六 森と水のサイエンス  
社団法人 日本林業技術協会編 東京書籍
  - 七 資源環境対策 一九九四年 四月号  
公害対策技術同友会
- これらの参考図書は、すべて宮城県環境情報センターで閲覧できます。



—— 太古から生き続けてきた ——

# 西風蕃山ならいの大きな森

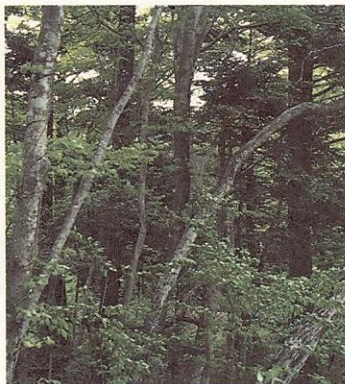
(財)宮城県伊豆沼・内沼  
環境保全財団研究室長

柴崎

徹(文と写真)



林床を覆うマイツルソウ



夏の原生林

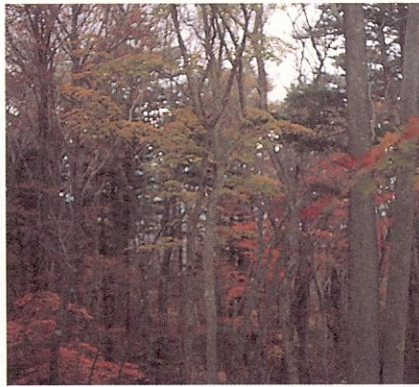


モミ・イヌブナの原生林(秋)





路傍のヒメシヤガ



秋の原生林

蕃山(ばんざん)は仙台の西のかなめ、蕃山の全山のみどりは、仙台の乏しくなったみどりの大事な外輪をかたちづくる。

西風蕃山の山頂部に、いまでも残るモミ、イヌブナの鬱蒼とした森、この森こそ蕃山の姿を伝える原生林の森である。

エンタシスのようなモミの樹幹、見上

げんばかりの遙かな梢、それらのつくる巨大な空間、そこには森のついやしてきた果てしない年輪が刻まれている。

森はたくさんの小さな植物をほびこらせ、ほかでは見当らなくなったあの可憐なマイヅルソウやルリソウもここにはある。

老いた樹も、倒木も、樹下に育つモミの若木も、ここには何ひとつとして余

分なものはない。それぞれがそれぞれの役目を負って、今までを生き、今からを生きようとしている。

太古からの営みをつづける西風蕃山の森は、私たちに静かに森の詩を語っている。



### ●交通案内●

JR仙台駅前から市営バスの作並行きなどで約三十分、折立下車か、茂庭台經由茂庭行きて大梅寺前下車。大梅寺の参道から登山道に入り、徒歩約五十分で頂上に着く。山頂には開山堂がある。

さらに西尾根道を三十分ほどたると西風蕃山にでる。帰りは、北に林道を下れば一時間十分ほどでJR陸前落合駅に着く。



# 森林浴に 出かけましょう



日本の国土の約七十％は、森林で占められています。

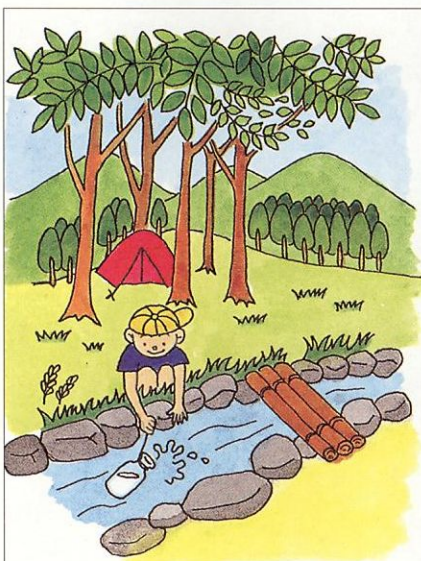
日本の森林は、国土が南北に延びているなど様々な条件に恵まれ、多様な姿を見せます。そして、私たちの暮らしや文化の形成に大きな影響を与えてきました。

しかし、近年になっていろいろな開発が進むなか、身近なところで森林が失われつつあるのも事実です。

また、一人当たりの森林面積から見ると、日本は、〇・二ヘクタールと決して大きなものではありません。

緑豊かな森は、清らかな水辺とともに、私たちがなごませ、元気づける不思議な力を持っています。

さあ、積極的に森に親しみ、楽しみながら、かけがえない地球環境に想いを馳せましょう。



参考：環境観察のすすめ(自治体研究社)より

●とっていいのは、写真だけ、残していいのは、足あとだけ……  
森ですぐすにも、一定のマナーがあります。後から来る人々のことを考えて行動しましょう。



●「森林浴」とフィトンチッド  
森のなかには、樹々が作り出す一連の芳香性物質があります。これはフィトンチッドと呼ばれ健康増進に効果があるとされています。木の葉の間からの木漏れ日、そしてフィトンチッド……  
森の中で心地よくすごす。それが森林浴です。



森林浴は身近な所から



# 日頃のライフスタイルを見直してみませんか？

私たちの身のまわりにあるモノは、かけがえない地球の資源でできています。あなたは、モノを大切に使っていますか。モノを買いすぎたり、無駄にしないように心がけていますか。

家庭から捨てられるゴミや排水、自動車の排気ガスなど、私たちの日常生活からも環境問題が発生しています。日常生活のパターンを見直し、どのように気を配れば環境にやさしい社会につながるのか、考えてみましょう。

**朝のひととき**  
 歯磨き、洗顔、トイレ、朝シャンなど水を大量に使用しますが、水を流したままにしないようにしましょう。水洗式トイレにおいては、給水タンクの中に水を入れたびんを沈めたりして洗浄水量を節約しましょう。

**クッキング**  
 調理においては、材料を有効に使い、必要以上の料理は作らず、食べ残しをしないようにしましょう。それでも出た生ゴミや米のとぎ汁は家庭菜園の肥料として使いましょう。流しにおいては、三角コーナーにろ紙や、ストッキングなどを使うことにより、水の汚れを防ぐことが出来ます。また食用油については、出来るだけ使いきるように心がけ、残った場合には、新聞紙等にしみこませて燃えるゴミとして処理し、食器や皿等についた油なども

拭き取ってゴミとして処理するようにしましょう。

(廃油で手作りの石けんを作って再利用するのもよいでしょう。)

## 買い物

できるだけ安い物袋を持つて出かけ、ポリ袋をもらわないように心がけたいものです。調味料、酒、清涼飲料水などについては、ゴミの増加のもとになるため、使い捨てのプラスチック容器より、詰め替えのできるものとか、リサイクル可能なびんなどに入ったものを選ぶようにしましょう。トイレットペーパーなどはできるだけ再生紙のものをえらぶようにしましょう。育児用品については、子供が大きくなると不用になるので必要な人に譲ったり、フリーマーケット等に出し、活用したいものです。

## ゴミ出し

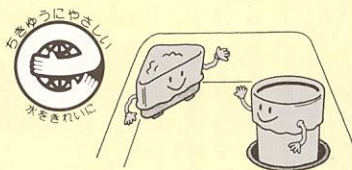
まず、ゴミとして捨てる前にもう使えないものか、再利用できないかを考えてみましょう。環境にやさしいライフスタイルを実現していくためには、回収、再生利用を促進していく必要がありますが、このためにもゴミの分別収集に協力したいものです。古紙、ほろ布、空きびん、空き缶などに分類し、自治体や回収業者に、出すようにしましょう。

## 地球にやさしい商品

### 台所水切り用品

細かな生ごみなどで、川や海を汚さないために。

毎日台所から流れ出る食べ物くずは、川や湖を汚し、さらには海までも汚してしまいます。できるだけ目の小さい水切りを使って、細かいくずまで流さないようにしたいものです。水切り用三角コーナー、ストレーナー、水切り用ろ紙袋などにエコマークがついています。



### 廃食用油再生石けん

使い終わった食用油を利用して石けんに。

使い終わった食用油が回収され、石けんに生まれ変わっています。このエコマーク石けんは、川や湖の汚れを防止するとともに、資源の有効活用に役立ちます。



**エコマークです。どうぞ、よろしく。**

エコマークとは「私たちの手で、地球を、環境を守ろう」という気持ちを表した、環境保全に役立つ商品につけられるシンボルマークです。環境 (Environment) と地球 (Earth) の頭文字「e」が人間の手の形となって、地球をやさしくつみ込んでいくデザインになっています。

(エコマークの「エコ」とは私たち人間や生物が生きていけるよい環境という意味です)



### ●「みやぎ「環境の日」フェア ア」開催される(仙台市)

去る六月五日に勾当台公園市民広場において、宮城県と仙台市の共催による「みやぎ「環境の日」フェア」が開催されました。これは、昨年十一月に施行された環境基本法により「環境の日」が制定されたことを受け、県民の方々に環境のもつ意義を再認識していただくよう企画されたものです。



「環境の日」が六月五日に定められた理由は、一九七二年ストックホルムで開催された国連環境会議がこの日から始まったことを記念したことと、我が国の提唱によりもうけら

れた「世界環境デー」を踏まえたものです。

この催しは、KANKYOクイズ、古本チャリティーバザール、環境コーナーなどのブース展開、環境問題に関するパネル展示とステージイベントで構成されており、中でも豪華景品に誘われたのか、KANKYOクイズコーナーには多くの人が集まっていました。このクイズは、五問中四問以上の正解者には花の小鉢がもらえる入門編と、これに合格した人にチャンスがある難問編との二段階方式で行なわれ、難問クイズに頭をひねったりする人や、見事正解し景品の「みやぎ「環境の日」フェア」オリジナルテレホンカードに大喜びする親子など、この日だけで約五〇〇人の方々がこのクイズに挑戦していました。また、ステージでは、ピー・アイ主宰の関口怜子さんによるトークショーが行なわれ、ちょっと視線を変えるだけでたごみの見えていなかったものがとても素敵なものに変身することや、ものを大事にすることの大切さなどを強い日差しをはね返すかのように熱く語っておりました。

今年の環境の日は日曜日で、また、好天にも恵まれたことから、家族連れや休日ショッピングの方などが立ち寄り、クイズの景品や何冊も抱えた古本などの楽しさといっしょに六月五日が「環境の日」であることと、今日の環境問題について再認識していたようでした。

### ●「宮城ごみ減量化指針」が できました

#### 宮城ごみダイエツト宣言

わたしは、毎日あき缶一個分の重さのごみを減量化します。

このほど、住民、事業者、行政が一体となってごみ減量化を目指す「宮城ごみ減量化推進会議」において、「宮城ごみ減量化指針」が策定されました。これは、質・量ともに増大し、適正な処理が困難になるなど多くの問題が生じているごみに対し、減量化の基本的な方向を示したものです。

指針では、「宮城ごみダイエツト宣言」わたしは、毎日あき缶一個分の重さ(二十五グラム)のごみを減量化します。」をスローガンに、日常生活の見直しなど、ごみ減量化を進めるための具体的な行動例などが、写真やイラストを多用したビジュアルな形で提案されています。

指針についてのお問い合わせは、宮城ごみ減量化推進企画事務局(宮城県環境生活部廃棄物対策課内) ☎〇二二-二二-二六八八)までお願いいたします。



### 「気仙沼地域リサイクルフェア」が開かれます。

#### みんなで広げようリサイクルの輪

県ではゴミの問題を考える機会として、毎年地域リサイクルフェアを開催しています。今年度は「みんなで広げようリサイクルの輪」というテーマで平成六年十月十七日(月)気仙沼市中央公民館で開催されます。

「ゴミ問題を解決する方法として、ゴミそのものの発生を少なくすることはもちろんですが、消費した後再利用することは大変有効な方法の一つです。そのためにはまず企業において、廃棄される所までを視野にいれた商品の開発が望まれます。流通業者はできるだけ包装を簡素化することも大切です。また、ゴミ処理システムも現在は市町村において事務処理を行っていますが、これからは処理コストをある程度ゴミ排出者に負わせることも必要になるように思われます。

ゴミのリサイクルはゴミの減量化につながり、更に資源の保護にとっても有効な手段です。

当口は

- ① 廃棄物処理に関するパネル等の展示
- ② 廃棄物の減量化、資源化に関する展示
- ③ リサイクル体験コーナーの開設
- ④ 企業によるリサイクルの紹介
- ⑤ リサイクルバザールコーナーの開設
- ⑥ 廃棄物に関する講演等を計画しております。詳しいことは気仙沼地域リサイクルフェア実行委員会(気仙沼保健所内)までお問い合わせ下さい。

(☎〇二二-二二-二六八八)



## 紹介

### 栗駒山を愛する人へ

#### 栗駒の自然を守る会

「一方的に偏ることなく、あくまでボランティアで、地元の人として地道に続けていきたい。」が会の方針で今では町内はもとより、県内及び県外に四百名を超える会員を抱えています。

会では年三回の観察会や迫川水系の水質調査のほか、自然保護の要請等の活動をしています。

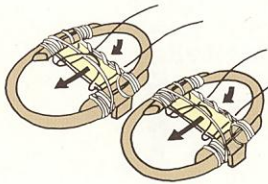
早春観察会は、三月中旬、会員手づくりの輪かんしきを履いて積雪のブナ林を歩くものです。この輪かんしきは、昔この地域で炭出しや山の作業の用具として使われてきたものを再現したもので、製作には三年くらいを要したとのこと。「これを履くと、二メートル以上もの積雪の上をささらずに歩くことができるんです。」と佐藤副会長さん。「どんな年代の人もみんな童心に帰るんですよ。」とお話を伺いながら、今ではあまり体験できなくなったことにくさんの人々が目を輝かせて挑む姿が自然と浮かんできました。

夏の観察会は世界谷地のニッコウキスゲが美しい六月後半に、また、秋の観察会は紅葉の中できのこ狩りをはじめ、いも煮会方式で行われています。秋の観察会ではきのこの鑑定も取り入れられています。「好評で、参加者が百人を超えることもあり、当日までその準備がたいへん。」と熊谷副会長さん。

今後取り組んでいきたいことは、

「自然環境に恵まれていると、それに慣れてしまっていてそれがあたりまえになってしまっている。山の実態を知らない人が多くなっている。観察会をもっと充実したものにして、それを通じて多くの人に栗駒の自然の現状を知ってもらおう機会を作っていきたい。」昨年からスタートした水質調査については、「もっと広域的にやってみよう。上だけでなく、金成町や若柳町などの下のほうの人たちとも交流を図り、将来はネットワークに持っていければいいと思うんです。」「全く人の手が入っていない沢の水質もあわせて調べてみたい。」とも話していました。

この冊子が皆さんのお手もとに届くころ、会は秋の観察会の準備で大忙しのことでしょう。皆さんも参加してみませんか。(M・M)



「栗駒の自然を守る会」に関するお問い合わせは

栗駒町岩ヶ崎上小路一四〇

熊谷敏満

☎〇二二八(四五)三三五六

## 環境情報センターから

### 新しくパネルをつくりました

環境情報センターでは、すでに作成した「みんなで守ろう地球の環境」「宮城の水のエコロジー」「くらしとゴミ」の三種類に加え、「参加しよう ひろげよう リサイクル」と題した七枚一組のもので、リサイクルをテーマにしたパネルを作りました。

いかに資源の使用を抑えて「ゴミを増や

さず、まだまだ使えるものをどのように利用していくか、ごく身近なものを取り上げて解説しています。サイズはいずれもB1判(約新聞紙四ページ大)でアルミ枠、吊り下げ用鎖がついています。環境に関する展示会、地域の各種行事等に気軽にご利用下さい。

## ビデオ・ライブラリー

### 『鳥のいる風景』一人と暮らしと環境と

宮城県環境生活部環境政策課 平成5年度製作

①家のまわりの環境②ふるさとの暖かさが残るイグネ③身近な自然としての鎮守の森④暮らしの中のゴミ⑤鳴砂の浜辺のゴミ⑥伊豆沼・内沼の環境保全の6テーマから構成され、私たち宮城県の身近な環境について紹介しています。

(VHSカラー28分)

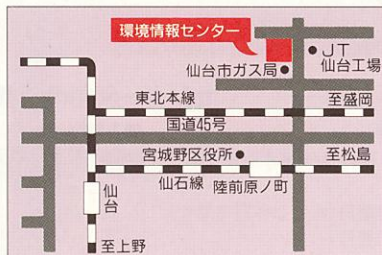
〒983

仙台市宮城野区幸町4-7-2  
宮城県保健環境センター1F  
宮城県環境情報センター  
TEL.022(257)7181 内線29

利用時間/月～金曜日、午前9時から午後4時まで

休館日/土・日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

交通/仙台市営バス 保健環境センター・たばこ工場下車すぐ





# 蔵王野鳥の森自然観察センター

木々のぬくもりと

野鳥のささやきがきこえる森

## 「ことりはうす」

蔵王野鳥の森自然観察センター「ことりはうす」は、野鳥の生態をさまざまな角度から紹介することによって、自然の成り立ちや生命の大切さを学ぶとともに、自然保護に対する理解を一層深めていただくため、平成六年四月オープンしました。

木造風外観の鉄筋コンクリート二階建てで、周囲の自然との調和に配慮した建物となっております。

館内には、蔵王の自然を紹介するコーナーを設けたほか、蔵王のブナ林の夏と秋、水鳥たちが集まる春の蒲生干潟や冬鳥たちの楽園、冬の伊豆沼・内沼など四季折りの自然をジオラマ（模型）で再現し、そこに生息する野鳥を展示しております。また、鳥の科学コーナーでは、鳥の飛ぶ仕組みや鳥の足やくちばしの形、巣や卵などについて楽しみながら学べる工夫がなされております。

さらに、野鳥の不思議な生態、日本や世界のさまざまな野鳥をミニジオラマや映像で紹介しております。

「ことりはうす」では、人間と野鳥と森のいのちの優しいハーモニーの中で過ごすひとときを体験しながら、自然の姿を満喫することができます。



展示室 冬の伊豆沼・内沼



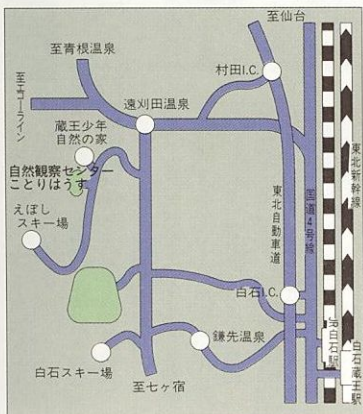
### ガイド

#### ■交通案内

仙台市内から車で約1時間  
白石インターから約30分  
村田インターから約40分

#### ■お問い合わせ

蔵王野鳥の森自然観察センター  
TEL 0224-34-1882



### センター利用のご案内

#### ■開館時間

午前9時から午後4時30分まで

#### ■休館日

毎週月曜日(ただし休日を除く)  
休日の翌日  
年末年始

#### ■入館料

区分	個人	団体
小・中学生	100円	80円
高校生	150円	120円
大人	300円	240円

※20名以上団体料金



# 直線のヴィスタ、曲線のヴィスタ

東北大学工学部助教授 近江隆

北上川の河口の雄大な風景に魅せられて、奥まった長面の集落に足を踏み入れたとき、車社会に引き裂かれた街道筋の街並とは違って、何かひかれるものがあつた。ここでは素朴な空間の仕組みが直接的に伝わってくる。

長面の集落は対比の妙をなす二つの部分からなる。進入路に直交する街並は、雄勝のスレートで葺いた切り妻の尖った屋根が直線的に並び、リズムと規則性を強調し、そこに街の軸線をつくる。そこには街をつくる強い意志を感じる。しかし、屋根は一軒一軒微妙な違いを見せ、それぞれの個性を主張する。

一方、先端で曲がった道は自然の微地形にそって緩やかにカーブし、家は今度はそのに合わせてヴィスタを形成しようとする。異なる屋根の形態、異なる材料、異なる色。景観を瓦解させそうなこれらの要素が奇妙に落ちついて統一感をもたらすのは何であろうか。それは人々が樹木や花や塀によってみせる心遣いであり、空間のコンセンサスであろうか。

空間のコントラストにみちた二つの街並が併存する集落の風景は、水害や飢饉をくぐり抜けてきた人々の心の奥底にある連帯意識の表出なのかもしれない。

## 交通

- JR石巻駅前から宮城交通バスで飯野川經由長面まで約1時間



一軒一軒微妙に違うスレート葺きの屋根



緩やかなカーブに沿った家家



雄勝のスレートで葺いた切妻の屋根



樹木や花や塀によって作り出される景観







県花：ミヤギノハギ



この冊子はエコマーク認定の印刷用再生紙を使用しています。

「みやぎの環境」第9号平成6年9月16日発行(年2回3月・9月発行)

●発行所 〒983 仙台市宮城野区幸町四丁目7番2号

●宮城県環境情報センター TEL 022(257)7181

●印刷 株式会社ソノベ

●編集委員 吉田祐二(石巻市)、荒光雄(山元町)、伊藤エステル(仙台YMCA)、田畑規理子(環境政策課)、三沢松子(環境対策課)、伊藤利彦(環境保全課)、鈴木正章(廃棄物対策課)、山本仁、宗久和義、小林孜(保健環境センター)